

人文学部同窓会・人文学部



●同窓会の概要

昭和 24 (1949) 年、新制大学が発足するにあたり、旧制富山高等学校が富山大学文理学部として生まれかわり、その後、昭和 52 (1977) 年の文理学部改組によって文学科が独立し、現在の人文学部となりました。人文学部同窓会は、かつての文理学部同窓会がその前身であり、さらにそれ以前の旧制富山高等学校同窓会ともゆかりがあります。

人文学部が最初の卒業生を送り出すその前々年、昭和 54 (1979) 年 11 月に文理学部同窓会は発展的に解消され、新たな組織として人文学部同窓会が創設されて会則も新たに定められました。以来 28 年、わが同窓会は友愛と親睦の組織として意欲的な活動を続けてきました。

現在人文学部同窓会の会員数は 6,469 名 (学部卒業生 6,137 名、専攻科修了生 89 名、大学院修了生 243 名)、そのうち文理学部文学科の卒業生は 1,291 名であり、高齢の会員のなかにはすでに社会の第一線を退かれた方もありますが、大多数の会員が国内外のさまざまな分野でめざましい活躍をしております。

なお、在学生には準会員として、また人文学部教員には、退職された方も含め、特別会員として、同窓会の活動を側面から支えていただいております。

同窓会の事業として、毎年 11 月に総会と懇親会を開催し、これにあわせてかつての恩師や人文学部の現役の先生を講師に招き、講演会を行っております。また、毎年 9 月



人文学部校舎玄関ホール壁画「思索の森」部分

発行の会報『人文』は、発行部数が7,000部、今年で第29号を数えます。3月の学位記授与式には同窓会が主催して卒業および修了祝賀会も開催しております。その他、4年毎に会員名簿を作成し、会員の現況把握に努めるとともに相互交流の促進を図っております。

●人文学部の現況

人文学部が掲げている目標

- ・ 人類の精神的遺産の発展的継承とより深い専門性の追求
- ・ 実証的な分析に基づいた国内外の現代的諸問題に対する深い洞察力の育成および積極的な関与
- ・ 人文諸科学の総合化による学際的な新しい知的領域の開発
- ・ 地域社会、国際社会への積極的貢献

学部教育に関する具体的目標

- ・ 自主的・主体的に行動できる、国際協調時代に相応しい人材の育成
- ・ 問題意識を持って調査・分析・発表・討論する能力を有する人材の育成
- ・ 言語コミュニケーション等の実践的能力を身につけ、異文化間の相互理解を推進できる人材の育成

人文学部が掲げる教育研究面でのこれらの目標を達成するため、また新しい時代の変化に柔軟に対応できる体制を整えるために、平成17(2005)年にはこれまでの3学科を1学科に統合する学科改組が行われました。7講座に9コースが配置され、全体で24の多彩な専門分野から成り立っています。教員数は71名、留学生や大学院生を含めると800名を上回る学生が在籍しており、毎年200名余の有為な人材がこの人文学部を巣立っていきます。

